

6361-1093  
平成19年3月23日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成18年度病害虫発生予察注意報第12号について  
平成18年度病害虫発生予察注意報第12号を発表したので送付します。

平成18年度病害虫発生予察注意報第12号

平成19年 3月23日  
宮 崎 県

病害虫名 タバココナジラミ類  
(タバココナジラミ バイオタイプQ、シルバーリーフコナジラミ)

作物名 冬春トマト(大玉・中玉・ミニ)

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 -

3 発生量 多

4 注意報の根拠

- 3月中旬の巡回調査におけるタバココナジラミ類(タバココナジラミ バイオタイプQ・シルバーリーフコナジラミ)の発生面積率75.0%(平年18.8% 前年30.8%)、百葉当たり虫数5.0頭(平年1.0頭 前年0.8頭)はともに平年より多である。(図1, 2)
- 気温上昇に伴い、ハウス内外とも繁殖に好適な条件となることから、今後更に増加すると考えられる。
- 本害虫が媒介するトマト黄化葉巻病は、県内のトマト栽培においても、発生市町村数、発生面積とともに依然として増加傾向にある。(表1)

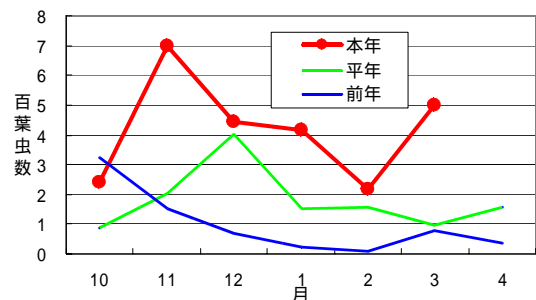
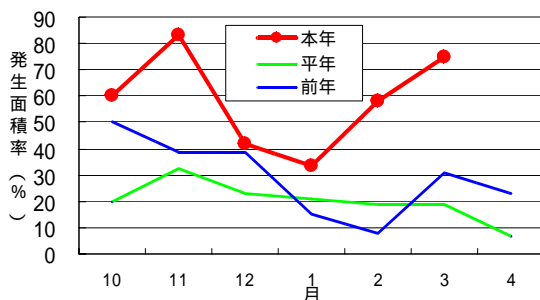


図1 タバココナジラミ類の発生面積推移

図2 百葉虫数の推移

表1 トマト黄化葉巻病の発生状況

	平成16年5月	平成16年11月	平成17年12月	平成18年12月
市町村数	1市4町	2市11町	3市8町	5市9町
発生面積(ha)	12.3	46.5	43.4	77.5

営農支援課調べ(発生面積は、発生ほ場面積)

## 5 防除上の注意

各種薬剤に対して感受性の低いタバココナジラミ バイオタイプQが発生していることから、以下の点に留意した防除を心掛ける。

- 1) 有効な薬剤に対する抵抗性発達を回避する観点から、連用は極力行わず、より一層のローテーション散布を心がけ、抵抗性発達の可能性が低いポタニガード乳剤等の微生物農薬や粘着くん液剤等のタバココナジラミ類を物理的に窒息死させる薬剤を防除体系に組み込む。
- 2) 増殖源である栽培地周辺の除草を徹底する。野良生えトマトは格好の増殖場所となるため特に注意して抜き取り処分する。
- 3) 防除薬剤等その他の詳細については、病虫害防除・肥料検査センター、総合農試生物環境部、農業改良普及センター等関係機関に照会する。また、農薬使用基準を遵守し、ポジティブリスト制度への対応を含め、危被害防止とドリフト防止に努める。
- 4) これから気温が上昇し、屋内外での繁殖に好適な条件となることから、ハウス内密度を低く維持するとともに、栽培施設からの散逸防止を徹底する。また、栽培の終了したほ場では、蒸し込みによりハウス内の虫を駆除する。

### 《連絡先》

病虫害防除・肥料検査センター 米良

TEL : 0985-73-6670 Fax : 0985-73-7499

ホームページ : <http://www.jpnpn.ne.jp/miyazaki>

E-mail : [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)